

学術講演会のご案内

—小松市・加賀市・能美市医師会—

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、学術講演会を下記の要領で開催させて頂く運びとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、ご参加の程何卒宜しくお願い申し上げます。 謹白

日時 : 2019年2月21日(木) 19:00~21:15

場所 : ルートイングランティア小松エアポート2階 鏡花の間

石川県小松市長崎町4-116-1 (TEL 0761-23-7010)

【情報提供】19:00~19:15

ピラニア錠の最新情報

Meiji Seika ファルマ株式会社 筒井 れな

総合司会

小野江医院 小野江 為人 先生

【特別講演】19:15~21:15

座長 上出耳鼻咽喉科医院 上出 文博 先生

「花粉症治療における 労働生産性の意義」

日本医科大学 耳鼻咽喉科 准教授
後藤 穰 先生

- *この講演会は、石川県医師会生涯教育講演会（2単位）に該当します。
- *この講演会は、石川県薬剤師会認定薬剤師研修制度（1単位）に申請中です。
- *この講演会は、石川県病院薬剤師会生涯研修認定制度（1単位）に申請中です。
- *この講演会は、石川県臨床内科医会（5単位）に該当予定です。
- *この講演会は、カリキュラムコード（7, 39）に該当予定です。
- *石川県医師会受講履歴管理カード（IMAカード）をご持参ください。

共催 : 小松市医師会 加賀市医師会 能美市医師会 石川県臨床内科医会

小松能美薬剤師会 Meiji Seika ファルマ株式会社

後援 : 石川県病院薬剤師会

演者ご紹介



日本医科大学 耳鼻咽喉科学
准教授 後藤 穰 先生

<講演要旨>

スギ花粉症を代表とする季節性アレルギー性鼻炎に対する治療について、最新の知見と開発治験データに基づいた花粉症治療の新たな治療戦略を考案する。理想的な抗ヒスタミン薬の特徴として、鎮静作用がなく即効性があり薬物相互作用の少ない事があげられるが、現在ではそのような薬剤が複数上市されており薬剤毎の特徴について解説する。

また、アレルギー性鼻炎等のアレルギー疾患が労働生産性に影響を及ぼす事が報告されており、労働生産性に対する影響を考慮した薬剤選択についても知見を述べる。

【ご略歴】

- 昭和59年3月 愛知県立時習館高校卒業
- 昭和60年4月 日本医科大学医学部入学
- 平成3年3月 日本医科大学医学部卒業
- 平成3年5月 第85回医師国家試験合格 (医籍339946号)
- 平成3年6月 日本医科大学付属病院研修医採用
- 平成5年7月 静岡済生会総合病院耳鼻咽喉科派遣
- 平成6年7月 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科助手
- 平成8年9月 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医 (第8672号)
- 平成10年9月 静岡済生会総合病院耳鼻咽喉科派遣
- 平成11年4月 日本アレルギー学会認定医(第1739号)
- 平成11年6月 学位授与 医学博士 (日本医科大学 乙1506号)
- 平成13年4月 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科助手復帰
- 平成13年10月 日本アレルギー学会評議員 (H.13年10月～16年6月)
- 平成14年3月 日本アレルギー学会認定専門医 (耳鼻咽喉科)(808号)
- 平成15年1月 日本医科大学千葉北総病院 医局長
- 平成16年4月 日本医科大学耳鼻咽喉科学 講師
- 平成16年7月 日本アレルギー学会代議員
- 平成18年12月 日本アレルギー学会指導医
- 平成20年4月 新橋アレルギー・リウマチクリニック 非常勤
- 平成20年9月 日本耳鼻咽喉科学会千葉地方部会理事 (~H.22年6月)
- 平成22年7月 日本医科大学付属病院 復帰
- 平成23年4月 日本医科大学耳鼻咽喉科学 准教授
- 平成25年4月 日本医科大学多摩永山病院 耳鼻咽喉科 部長
- 平成26年4月 日本医科大学多摩永山病院 病院教授
- 平成30年8月 日本医科大学付属病院

【所属学会】

- 日本耳鼻咽喉科学会
- 日本アレルギー学会
- 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会
- 日本鼻科学会
- 日本気管食道科学会

【現職】

- 日本医科大学 耳鼻咽喉科学教室 准教授
- 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医・専門研修指導医
- 日本アレルギー学会指導医・専門医
- 日本鼻科学会 代議員
- 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 編集委員
- 日本アレルギー学会 代議員、「アレルギー」編集委員副委員長、アレルギー免疫療法委員会
- 鼻アレルギー診療ガイドライン2016年版（改訂第8版）事務局

